

## 令和6年度予算編成にあたって

富田林市長 吉村 善美

令和6年度当初予算は、私が富田林市長に再任された後に臨む初めての当初予算となります。私が所信表明において、市民の皆さまに約束した、富田林版「こどもまんなか社会」の実現をはじめとする2期目の公約実現に向けて動き出すための重要な予算編成です。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へと移行し、経済活動の回復をひしひしと実感しています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する世界情勢の悪化や円安の進行による原油や穀物等の物価高騰が止まらず、市民生活に大きな影響を与えています。本市にも大きな影響を与えていることから、本市の財政状況は依然厳しい状態であると言わざるを得ません。

そのような状況下においても、私の政治信条である、「市民とともにつくる、市民が幸せになる、市民本位の市政」の実現に取り組み、誰もが「富田林に生まれて良かった、暮らして良かった、長生きして良かった」と思っていただけ富田林の創造に向けて、「一つ、ひとつ、未来へ」形づけていくため、まい進していく決意に揺るぎはありません。

私たち行政は、多様に変化していく市民ニーズを的確に見極め、スピード感を持ってそれに応えていくため、市民の皆様から託された貴重な財源と資源を有効に活用し、最大限の効果を発揮させ

られるよう、様々な事業に創意工夫して取り組んでいかなければなりません。そのためには、見直すべきものは見直し、投資すべきものに投資をしていくという市民サービス全体のバランスを考えた視点での舵取りが必要となります。職員の皆さんは、「厳しい財政状況だから、できません」と思考を停止せず、「どうすれば、厳しい財政状況の中でもできるか」と前向きな思考に変革し、職務にあたってください。

また、これまで実行してきた本市の取組みは、他市にはない先進的な、キラリと光る施策があります。そのような施策を更に増やし、更にバージョンアップさせていきましょう。そのためには、職員一人ひとりが、日々の業務を遂行するなかで、常に改善意識や問題意識を持ち、解決策も含めて考えてみてください。それを課内部内で議論し、積極的に私に提案してください。

各部長においては、単に部内のマネジメントにとどまらず、市民の幸せを第一に考え、部の職員の声を拾い上げ、他の部局との連携による更なる効果の創出や、喫緊の課題解決に向け、関係部局間の連携強化を徹底し、組織に縛られることなく、部局連携予算として積極的に取り組んでください。

以上の認識を踏まえ、令和6年度の予算編成は、所信表明で市民の皆さまにお約束した、以下の4項目を重点の施策とします。

1. すべてのこどもを、みんなで応援するまちづくり
2. すべての市民の暮らしを支える住民福祉の増進
3. 人とまちが賑わい、地域の魅力と可能性を開くまちおこし・地域おこしを推進
4. 行財政改革・市役所改革の継続と市民サービス向上の両立を追求

さらに、この4つの柱すべてに共通して、「SDGs 未来都市富田林」としての視点や、単なるデジタル化でなく業務の変革をもたらすようなDX（デジタルトランスフォーメーション）の視点、近隣市町村との広域連携の視点、さらには2025年大阪・関西万博をチャンスと捉える視点を持ってください。

また、社会課題の解決につながる事業などについては、企業版ふるさと納税や、ガバメントクラウドファンディングの活用を積極的に検討し、市の財政負担抑制や収入増加に努めてください。

私は、日本の未来のため、今、急速な少子化・人口減少に歯止めをかけなければならないと強く感じています。若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでが少子化のトレンドを反転させるラストチャンスです。「歳入の範囲内で歳出予算を組む」という財政規律を堅持しつつ、国及び府と歩調を合わせながら、富田林版「こどもまんなか社会」の実現に向けて施策を推進していきます。全職員一人ひとりが責任と自覚を持って、来年度の予算編成に取り組みましょう。

以上、令和6年度予算編成の基本方針とします。